

開校 記念 講演会 レポート (R1.10.3)
演題「好きな自分であるために」 講師 映画監督 清水崇さん



- 映画 ET を見たことをきっかけ映画に夢中になりました。
- 失敗をおそれずに自分が夢中になれることを見つけましょう
- 本能に近い気持ちで取り組めると成長できます。





○生徒が、清水監督に質問をしました。



Q: 撮影のスタッフの仲が悪くなったとき、どんな対応をしますか？



A: 映画は使わないシーンの撮影をします。その撮影に、仲が悪いもの同士が協力しなければならないようにします。そうすると、仲良くなります。

Q: 映画監督の仕事に不安はありませんか？

A: 夢中になれるものをやってきたので不安はありません。不安は、マイナス要素ばかりではありません。自分の撮影や編集技術をスキルアップさせるためには安定より不安の方が大切です。その方が自分の能力をアップさせるのです。

